

人形使い 沐浴に挑戦

白糠高

【白糠】町は白糠高校の1、2年生48人を対象に沐浴教室を同校で開いた。子供を産み育てることの意義や保育の重要性、実践を通して沐浴の手順や着替えの方法などを身に付けるため毎年行っている。



人形を使って沐浴に挑戦する生徒
(白糠町役場提供)

6月30日に実施。町健康こども課の保健師安田未悠さんと小川果蓮さん、助産師の本郷恵さんの3人が赤ちゃんの人形を使って沐浴の手順や体の洗い方などを紹介した後、生徒が挑戦した。岩淵涼花さん(2年)は「人形が重たく、首を支えながら洗うのが難しかったけど、貴重な体験になった」と話していた。

(森崎博史)